

# 茨木市中心市街地まちづくりシンポジウム

～次なる茨木へ。中心市街地と駅前のあり方～

## アンケート結果概要 (シンポジウム開催時にアンケートを実施。回答数 82 部)

### 1 本日の基調講演の感想をお聞かせ下さい。

#### まちづくりへの期待

- ・駅前からつながるまちづくりができればいいのにと思いました。
- ・奇をてらったモノ作りでなく、新しい発想に基づく街づくり。規制強化でなく緩和も必要。
- ・テクノロジーの活用をしつつしっかり考えていけば魅力的なまちづくりができるのではないかと大変ワクワクしました。
- ・他の都市と同じようなものになるのは避けていただきたい。更に先を見据えた、もしくは柔軟に対応することができるまちづくり。
- ・建物にかかるお金も考える必要があり、住民主体であることは違いないが、50年先を見込んだソフト面の条件（利用・活用）が重要。
- ・高齢者になっても暮らしやすいことは、若いヒトが住み続けたいと思えるまちになる。
- ・大学を卒業した若者世代が茨木市から遠のかないような街づくり。

#### 場所作り

- ・集客居場所に影響するのが芸術文化。これはエリアのキャラを作るのにも、人の心の育成、茨木市の風土にも影響するので文化施設の導入を含めて考えて欲しい。
- ・人のあつまるまちなか広場の必要性、20分圏内のまちづくり、老人にとってよいまちなかが、市民によりまちになる。
- ・魅力的な場所づくりと運営方法が重要。
- ・富山のまちなか広場のような施設が茨木にあればどうだろう？と考えると、住民としてはとても魅力的に感じました。そのような施設があっても、知らなきゃ使えないため広報も大切。
- ・駅周辺がくつろぐ空間として、利便性があり、住みやすい場所になれば良い。

#### 官民協働・市民参加

- ・まちづくりや都市展開をしていく上で1番大切なことは、市民が自分達でアイデアを出し合い、それを行動にうつすこと。
- ・自分達でまちづくりをすれば市民同士での交流する機会も増え、より人が中心となったまちづくりができると思います。そうすることによって、人で賑わうまちを作ることができる。

### 2 本日のパネルディスカッションの感想をお聞かせ下さい。(主なご意見)

#### まちづくりへの期待

- ・100年続くまちを構想していただきたい。

- ・ワクワクさせるような絵やキーワードが無いように感じます。まず、そこから作り市民が議論したくなる、参加したくなる土壌をつくることが大事。
- ・駅を降りたときにまちにつながりやすい道を作ることが大切。駅前のエリアと中心市街地エリアのつなぎ方を考えていく必要がある。
- ・画一的に駅前整備するのではなく、各駅の魅力の差別化。
- ・駅前の魅力づくりが大事。

#### 場所作り

- ・市民会館がJ Rと阪急をつなげる空間にするのは良い考えと思った。しかし、両駅が今のままではつながらない。
- ・ゆとりあるスペースの確保と利用方法を市民から出し合ったらどうか。
- ・茨木に働く場を作ることも重要。
- ・市内の回遊性を高め、2つの商圈をつなげるために駐車場を使わない手はない。
- ・駅前の土地高度利用の重要性、人のあつまる駅前広場はまちづくりに必要。

#### 官民協働・市民参加

- ・まちをデザインするためには、市民・行政がそれぞれ市の将来像を作り、それを共有することが必要である。
- ・官民一体となって取り組む事が重要。陳情だけするのは意味がない。住民が自ら動く事が街を変える一つの大きな要素。
- ・自分のこととしてまちづくりに協力していきたい。市民が主役である。
- ・これからの街づくりは我々住民が共同してつくっていかなければならない。
- ・市民が主体的になるには面白い人々が関わるとともに、支える行政にも面白い人が積極的に関わることが大事。
- ・市民一人一人が街づくりへ、まず意識が向けられること、次に自分の意見、そして自分を含めた公共のことまでアイデアを出せることが大切。

### 3 茨木市の中心部が「こんなふうになってほしい」という思いを聞かせて下さい！

#### まちづくりへの期待

- ・市役所周辺のまちづくりも肝要とは思いますが、まちへの入口となる駅周辺の間接関係をまず行って欲しいです。ハコモノの失敗は活かすべきですが、何もしないことも失敗となります。駅前の発展なくして、中心地の発展はありえない。
- ・JRと阪急の間にぎわいが欲しい。
- ・老朽化した建物の建替えを含め、魅力ある中心部となるよう取り組みを進めていただきたい。
- ・大規模な開発で街の風景・面影が失われるようなことはあって欲しくありません。
- ・子どもが自分の子どもに住み続けてほしいと思ってもらえるまち。夢のあるまちに。
- ・商店街は駅から近く、茨木市の玄関または顔であり、人で賑わうような場所になってほしい。
- ・子どもの教育、高齢者の福祉に重点を置いた、住民にとって「行く必要のある中心部」となって欲しい。多世代が入り混じる様な仕組みを考えて欲しい。

- ・少子高齢化の近未来に対応できるモデルとなるような整備。
- ・若者と高齢者の共生できる街作り構想としたい。商業・交通だけの街づくりは疑問である。

### 場所作り

- ・滞在時間が長くなるような施設が必要と思う。市役所付近に文化施設を作る。元茨木川跡地はスポーツが出来、子どもも年寄りも居られる場所にしてほしい。
- ・子どもたちが楽しむことのできるスペースが重要。
- ・親子で参加できるイベントなどを開催できる空間を駅前にも整備してもらいたい。高齢者も利用しやすい公共交通の結節点である駅前の利便性を活かした、コト消費を提供する公民連携の施設を創ってもらいたい。茨木らしい文化的な暮らしができるとう良い。
- ・みどり豊かでいこえる場があればいい。
- ・人々が行き交う、時間をすごせる、楽しめる駅前になってほしい。

### 官民協働・市民参加

- ・住民（市民）、民間、行政が常に協働して、予測不可能な未来に対応できるまちづくりができるようになってほしい。
- ・行政・市民・商業が一体となり、住みやすさ No.1 の市を望みたい。各自が主人公として考えることが最も大切。
- ・北摂の都市といえば「茨木」と他県の人にもまで思われるようになってほしいなど思っている。そのためには、自分が動かなければいけない、動けば変えることができる
- ・人を育てる、人づくりに重心を重くして頂き、人を呼べるようにして頂きたいです。BigPictureを描き、ワークショップを開いてもらいたい。私は大学生ですが、まちづくりに参加したい。

### まちづくりのアイデア

- ・駅前には必ず人が集まると思うので、イベント等をもっとふやしてしてもらいたいです。
- ・余裕のある街にしてほしい。次の大きなイノベーションにも無理なく対応が出来、持続可能な街が形成されると考えます。
- ・JR西口について、郊外に好んで住んでいる方も多く、送迎も多いのに自家用車は停車の場所もない。バスも自家用車もライドスルーの方法を取れば良いと思う。
- ・学生が増えてきたが、彼らの集まれるスペースを作りイベント開催。将来的には自動運転バスを阪急・JR・エキスポ（阪大病院）を走らせて回遊性を高められないか。
- ・にぎわい、わい雑さを失わない街づくりをお願いしたい。職場がたくさん有る、老けない街づくりをお願いしたい。バスターミナル中心の駅前には、魅力が無い。
- ・阪急駅⇔JR駅の①ループバス（以外は締め出し）、②レンタサイクルとサイクルロード化、③緑地化歩道、商店レストラン街、アミューズメント
- ・阪急茨木市駅、JR茨木駅をつなぐ線で市街地でゆっくり楽しむような街を造っていただきたい。駅前ビルに子供の預り保育場を置いて勤めに行き、安心して帰りに連れて帰れるような場。
- ・幅広い世代が生活しやすい街づくりを期待しています。駅前にコミュニティースペースを期待しています。

